

火遊び・花火による火災の防止について

1 火遊びによる火災の防止について

子供が火遊びをすると消火することができずに火災が拡大することがあります。

本消防組合では子供の火遊びによる火災が令和4年中に3件（全国357件）発生しています。

子どもの火遊びによる火災防止ポイント

- ① 小さな子供だけを残して外出しない
- ②ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない
- ③ 子供だけで火を取り扱わせない
- ④ 火遊びをしているところを見かけたら注意する
- ⑤ 火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する

2 おもちゃ花火はルールを守って楽しく遊びましょう

子どもの頃に、夏になると手持ち花火や打ち上げ花火などのおもちゃ花火で遊んだ記憶があるのではないのでしょうか。

楽しい花火は遊び方を誤ると、火災や火傷などの事故が発生する可能性があります。

楽しく、安全に遊ぶためにも十分に注意して遊びましょう。

本消防組合では花火が起因とする火災が令和4年中に4件発生しています。

花火を安全に遊ぶためのルール

- ① 必ず水の入ったバケツ、ゴミ袋を用意する
 - ② 使用後は水にしっかりつけて消す
 - ③ 風の強い日には行わない
 - ④ 3歳以下の子供に持たせない
 - ⑤ 肌の露出や履物、裾の広い服装でやらない
- ※ 使用方法や注意事項をよく読みましょう



河川敷で発生したその他の火災

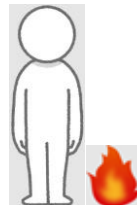


手持ち花火により出火したと断定されました。

着衣に着火した場合の対処法



着衣に火がついても走らない！



立ち止まって地面に転がる！
燃えている部分を押し付けて消火する

止まって、倒れて、転がり消火